

老いと向き合う講演会

参加無料



脳科学からみる認知症



～記憶を失うとその人は「その人」でなくなるのか～

認知症を患う人の言動について「どうして？」と思うことはありませんか？
脳科学者であり、認知症を患う母親の介護者でもある講師より、
実体験を交えながら認知症についてお話をして頂きます。脳のことを知り、
その人の可能性と、かかわり方のヒントを一緒に考えましょう。

脳科学者

おんぞう

あやこ

講師：恩蔵 絢子 氏

日時：令和5年9月2日(土)

午後2時～午後4時（午後1時30分開場）

会場：住吉総合福祉センター2階 大広間
（住吉区帝塚山東5-8-3）

定員：先着50名 ※事前申し込みが必要です。



※コロナ感染症の拡大状況により開催形態が変更や中止になる可能性があります。

<申し込み・問い合わせ>

住吉区北地域包括支援センター（住吉区帝塚山東5-6-15）

電話：06-6678-1500 FAX：06-6678-1501

受付期間：8月1日（火）～8月25日（金）



講師紹介と会場案内は、裏面をご覧ください。

講師紹介

脳科学者 恩蔵 絢子 氏



1979 年、神奈川県生まれ。脳科学者。専門は自意識と感情。2007 年、東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻後期博士課程修了(学術博士)。

現職、東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。

著書に『脳科学者の母が、認知症になる』(河出書房新社)、共著に『なぜ、認知症の人は家に帰らたがるのか』(永島徹との共著、中央法規)、『化粧する脳』(茂木健一郎との共著、集英社)、訳書に『ドーパミン中毒』(新潮社)、『生きがい』(新潮社)、『顔の科学』(PHP 研究所)がある。

同居する母親が、2015年にアルツハイマー型認知症と診断され、以来娘として生活の中で表れる認知症の症状に向き合ってきた。一方で母を脳科学者として客観的に分析することで、医者/患者、科学者/被験者という立場で研究するのとは違った認知症の理解を持つにいたり、情報を発信している。高齢者の創造性に強く関心を持つ。

会場案内



会場までのアクセス

- 電車
南海高野線「住吉東駅」
東側すぐ
- バス
大阪シティバス「上住吉」
より西へ約 500m
- お車
駐車場はございません
コインパーキングを活用
ください